

Yamatan Times



山村学園短期大学 子ども学科

Welcome Guide 2019

 step for
100th
 ANNIVERSARY
 100周年に向けて


先輩にインタビュー

夢をつなぐ学園 親子で紡ぐ夢。


 Iさん親子
 お嬢さんは平成30年卒
 保育学科16期生

山村学園創立100周年を迎えるにあたり、親子2代山村学園で過ごしたお二人にお話を伺いました。お母さんは、現在の山村学園高等学校(旧山村女子高等学校)に通われ、たくさんの友達と過ごした日々や、テニス部で青春していたことを思い出しながら話してくれました。「当時の友達とは、今でも会う間柄なんです。」充実した学生生活を送っていた様子がお聞きできます。



時を経て、お嬢さんが山村学園短期大学に入学されたことで、改めて学園の【建学の精神】を読み返し、感慨深く、胸がいっぱいになったとか。現在、坂戸市の保育園で保育士として働くお嬢さん。「子どもの頃、大好きな保育園の先生がいて、私もそんな保育士にならなりたいと思ったんです。」母校のオープンキャンパスに行ったそうですが、山短を選んだ決め手として、この緑豊かなのびのびした環境と、少人数クラス制で、学年の枠を越えた仲の良さが気に入ったのだそう。「先生や事務局の方、先輩もみんな家族のように接してくれるんです！」山短のすごいところは、少人数制というだけあって学校全員が顔見知りというところ。辛いことや困ったことがあった時、先生や友達の前で安心して泣いたり、相談したり、楽しいことはみんなで共有できる、とてもアットホームな学校だとお嬢さんは言います。お母さんも「私が通っていた系列校で安心、ということもありましたが、この学校ならきつと娘の夢のために親身になってくれるのではと心から思えました」

保育士として忙しい日々を送るお嬢さんですが、いまだに山短で学んだ日々を思い起こし、原動力になっているそうです。そして、この学園でもらった恩を、今度はこれから出会う子どもたちに還元すること、そして子どもたちのあこがれの存在になることが、これからの夢だそうです。

最後に、これから進路を決めようと思っている皆さんへ一言をいただきました。

お母さん：山短での二年間で、人見知りだった娘が人前で何かを発表したり、楽しく過ごす姿をみて、とっても充実していたのだと思います。目標の達成に向かい、日に日に成長する姿を見ることができ本当に良かったと思います。

お嬢さん：山短は、頼れる先生、先輩たちがあなたの目標に寄り添ってくれます。実習など、もちろん大変なこともたくさんありますが、寄り添ってくれる仲間が必ず得られる学校です。どうか夢をかなえてください。

創立100周年を間近にし、親子2代、3代と受け継がれていく建学の精神が、生きていく上での大事な教えになっていると、心から思える素敵な親子に出会うことが出来ました。

実践で活かせる 山短の授業

平成25年卒

保育学科10期生

Tさん(右)とKさん(左)



今もなお、山短を気にかけてくれる、頼もしい先輩方。それぞれ私立と公立の保育園に勤務されているお二人に聞いてみました。

—山短で学んだことで、特に役に立っていることは？

Tさん 動物園の演習で、小動物の扱い方や、子どもたちの動物とのふれあいなどがとても役に立っています。

Kさん 制作の授業で学んだことが子どもの工作指導などに、とても役に立っています。作ることの楽しさが伝わっていると思います。課題で作った布絵本など、いまでもそのまま現場で使っているんですよ。

—なぜ山短で学ぼうと思ったのですか？

Tさん 姉が山短に通っていて、山短の素晴らしい色々と聞いていたら、自分も興味を持ちました。入学して山短で学ぶようになって、

保育士の仕事が自分に向いていることに気がつきました。保育士になり、子どもが好きなんだと改めて感じています。

Kさん 子どもの頃から保育士にあこがれていました。山短に決めたのは、緑豊かな自然環境があり、ここでしかできない教育課程に魅力を感じたからです。

—山短を選んで一番よかった！と思ったことは？

Tさん Kさん 今もそうだと思いますが、明るい学生が多く、少人数なので先生をはじめ先輩後輩関係なく、みんながとてもフレンドリーなところだと思います。授業も実践が多くて楽しかったです。職場にも山短卒業の先輩がいて、学校の話で盛り上がりやすい。卒業しても遊びにいられて、こうして再会できるのも良いところ。一つにははげませません！

—保育士になる夢を果たしたお二人ですが、次の夢はありますか？

Tさん お話してきかなかった子が私の名前を初めて呼んでくれたり、なついてくれたりすると本当に嬉しくなります。子どもたちの成長が、働くモチベーションにもなっています。そんな子どもたちがもつと大きくなって、私のもとを訪ねてきてくれるようになることが、今の夢？希望かな？これからも子どもたちのために、一生懸命になりたいと思います。

Kさん 色々な経験をし、今が一番

楽しいと感じています。毎日変わる子どもたちの反応を見るのが、楽しくてたまりません。夢がずっと継続しているような感じです。このまま、子どもたちと楽しく接していきたい、それが今の夢です。

—これから入学する後輩に言えますか？

Tさん 将来が見えなかった自分でしたが、入学して学んだことでやりがいを見つけることができました。保育に少しでも興味があれば、ぜひ飛び込んでみてください！資格も取れますし、絶対楽しいと思います。

Kさん 少人数で、みんなが家族の様です。卒業しても今日みたいに学校に来たくなってしまう、そんな素敵な学校です。楽しいキャンパスライフを送ってください！

保育学科1期生 としての充実感

平成16年卒
保育学科1期生
Aさん



現在2児のお子さんをもつパパでもあり、公務員として保育の現場で働くAさん。発達障がいをもつ子どもたちのサポートも担当されているそうです。保育学科1期生の当時の、貴重なお話を聞かせていただきました。

—まず男性で保育士を目指す方は、当時どうでしたか？

親や周りに反対されていました。山短も、保育学科の実績や歴史がなかったため、大丈夫なのか？と。—どうして保育士を目指そうとしたのですか？

中学生の時、恩師となる先生に出会い、人を育てることや、心で繋がることの素晴らしいに感銘を受けました。子どもの原点、幼児教育に興味を持ち、保育士をめざしました。

—山短を選んだ理由は？

当時、保育学科のある大学で男性を募集しているところが少なかったんです。近くで山短だけが受け入れてくれました。当時男子は自分も入れて6名いました。15年経ちますが、今でも会うよき仲間たちです。

—入学した当時の山短の雰囲気をお聞かせください。

保育学科ができたばかりで、手探り感がありました。学生と先生とが、一から保育学科を作っていた感じでした。とても大変でしたが、この経験が今の仕事にとっても役立っています。その時からアットホー

ムな雰囲気です。今でも受け継がれている部分だと思います。山短の歴史的一幕に携われたことは、自分にとって財産です。

—今と当時の学校、学生の違いはありますか？

僕が通っていたころより、学生たちが明るく楽しそうで、学校全体が盛り上がりつつあると感じます。表情や対応もとても良くて、みんな充実した学生生活を送っているんだな、と感じています。きっと良い保育士さんになるんだろうな、と。

—これからの目標や夢はありますか？

自分の年齢はちょうど中間管理職的なところで、現在公務員の立場にいますので、組織全体で人を育てることや、育てやすい環境を作ってみることで、僕が目的をもって山短で学んだときのように、そういう志のある人の、人材育成に取り組んでいきたいと思っています。

—後輩や、これから入学を考えている皆さんへ一言おねがいます。

現在、保育士のなり手が少ない状況にあります。仕事となると実践ですので、学んだこととの違いもあるかと思いますが、仕事を通し、いろいろな出会いを楽しんでみてください。そして子どもたちにとって、唯一無二の存在になれるような、素敵な保育士さんになってほしいと思います。



クリスマス会

ぜひ来てください！

12月14日(土)10:00~12:00

会場:山村学園短期大学内 芙蓉館ホール



写真は昨年のオリジナル創作劇「カーナと魔女の歌」

全学生で作り上げるクリスマス公演。美しい歌声に合奏、そして心温まる演劇をご覧ください。昨年100名を超えるちびっこのみなさん、高校生や保護者のみなさまなど350名近くのご来場をいただきました。今年も素敵なクリスマス会になるように頑張っています。見ごたえある大舞台。ぜひ足を運んでみてください。

フィンランドの特別公開講座

ぜひ来てください！

2019年11月・2020年2月 (川越周辺の会場を予定しています)

※詳しくはお問合せください

駐日フィンランド大使館、フィンランドセンター、埼玉フィンランド協会の協力を得て、特別企画の公開講座を開催します。



本学の豊かな自然環境、比企地域の産業や人々の暮らしは、北欧の福祉国家、教育国家であるフィンランド共和国と共通する点があります。そこで、本学子ども学科の幼児教育・保育という専門性を発揮し、フィンランドの自然を活用して子どもを育むための視点を学びたいと思います。



LINEで綴ったキャンパスライフ

登録しましょう！



Instagram # 山村学園短期大学

いいね！待ってます！



レポート

子ども教育センター「鳩山町つどいの広場 ぽっぽ」の活動11年

地域の子育てと教育のために

鳩山町多世代活動交流センター内にある、子ども教育センター「鳩山町つどいの広場 ぽっぽ」。開設から早11年、内外より高い評価を受けています。

開かれた大学として、地域の声を教育と研究に生かしたいと願い、2008年4月にオープンしました。これまで約5万人が利用されています。

子どもを取り巻く状況の変化に対応し、乳幼児期教育の重要性を感じながら続けてきました。少子高齢化が進む鳩山町にありながら、ここ数年、利用者数が伸び続けている状況です。



毎月テーマを変えた子育て教養講座も人気の一つになっています。

地域社会の要請にこたえて、その役割を自覚し、山短だからできることで、これからも地域の活性化に貢献していきます。



こんなことをしています

- 幼児教育相談事業 (子育て相談)
- 教育調査研究事業
- 幼児教育研修事業
- 「地域の子育て支援」サポート事業(出前講座)

ちょっと学校に通おう!

社会人講座

申込期間 2019年8月30日(金)まで

定員各5名

本学の社会人講座では次の受講者を募集しています。(開講時期・科目・授業料等詳しい情報は直接お問合せください)

● 子育て支援プログラム

自然を使ったものづくりや、乳幼児救命法(LFSA)資格取得などを通して実践的な技術を身につけるプログラムです。

● 実践的孫育プログラム及び潜在保育士の就職準備プログラム

孫育に携わる方を対象に、実践的な子育て技術と子育て支援現場での体験を通して幅広い知識を修得します。

しっかり学校に通おう!

埼玉县委託公共職業訓練の受講生を募集

(募集期間等詳しい情報は直接お問合せください)

学納金無料!

社会人経験のある方、主婦の方、保育士にアコがれていた方!
今から山短で学びませんか?

社会人経験を活かせる!保育士資格取得から就職までサポートします。



WEB・SNSからも遊びにきてください!

